

大塚謙一 ASEV JAPAN 第2代会長 勳三等瑞宝章受賞

大塚謙一先生は、1994年春の叙勲において、勳三等瑞宝章を受賞されました。今回の御受賞は山梨大学、国税庁醸造試験所、ASEV JAPAN、日本醸友会あるいは洋酒技術研究会などでの一貫した酒類業界・酒類研究におけるご業績が評価されたものと思われれます。

先生は1945年に東京大学農学部をご卒業、更に坂口研究室にて大学院に進まれ、農学博士の学位を授与されています。1950年からは山梨大学で教鞭を取られ、1960年に国税庁醸造試験所に移られ、1977年には国税庁醸造試験所長に就任されました。1980年からはメルシャン（株）に入社され、酒類研究所長、常務取締役を歴任され、現在も顧問として在籍されています。この間、フランスよりワイン関係ではシュバリエ・デュ・タスト・ヴァンの称号を授与されています。現在は、洋酒技術研究会・会長としてご活躍であります。

先生の研究上のご業績は余りにも多く、ここで紹介することは出来ませんが、常に先駆的な研究をされ、ワイン及び蒸留酒の分野での報文数は約100報にも達しています。特にMOーラクトンのご研究は世界的に著明であります。

先生は1986年から1989年まで第2代 ASEV JAPAN 会長として本学会の基礎構築・発展に大いに寄与されました。その後は ASEV JAPAN REPORTS 初代編集委員長として、1993年からは顧問として御指導を頂いております。

先生は常に若々しく、お年を感じさせませんが、研究に対する考え方も非常に柔軟で創造性豊かであります。今後とも、ご健康に留意され、本学会及び会員への変わらぬ御指導をお願いしたいと思います。

(記：佐藤充克)